

intra-mart EX 申請システム ver.5.2

リリース・ノート

第七版 2008/7/31

1. バージョンアップ内容

以下にこのバージョンで変更になった点を列挙します。

なお、各機能の詳細に関してはマニュアルを参照してください。

また、各機能の設定方法に関しては、マニュアル又はインストールガイド等を参照してください。

◆ バージョンアップ内容

○全体

- ・ intra-mart WebPlatform Version. 6.0 に対応しました。
- ・ intra-mart イン트라ネット・スタートバック Version. 6.0 に対応しました。
- ・ SQLServer2005 に対応しました。
- ・ Windows Vista に対応しました。
- ・ Microsoft Excel2007 に対応しました。
- ・ ActiveX に電子証明書を付与しました。

○登録

- ・ 入力途中での一時保存を行うことができます。
- ・ 登録済データを再利用して登録することができます。
- ・ 可変行数の様式を登録することができます。
- ・ 独自のマスタと連携し、様式に設定することができます。
- ・ 様式のオフライン編集を行うことができます。

○設定

- ・ 様式をカテゴリ別に分類することができます。
- ・ 旧様式の設定を流用して容易に改版を行うことができます。また、改版の履歴管理を行うことができます。
- ・ 様式の公開、非公開を設定することができます。
- ・ 登録した Excel ファイルをサーバに保持する、しないを設定することができます。
- ・ クライアントへの Excel ファイルの保存許可、印刷許可を設定することができます。
- ・ 登録データの保持期間を設定することができます。
- ・ 設定時に Excel のシート名をプルダウンで入力することができます。
- ・ 任意の採番を設定することができます。
- ・ 設定情報のエクスポート、インポートを行うことができます。
- ・ 入力情報登録時のユーザ独自チェックを組み込むことができます。

- ・設定情報をクライアントにてオフライン作成するためのマスタ設定ツールを追加しました。

○ワークフロー

- ・ワークフロー途中での承認者による追記、訂正を行うことができます。また、追記時の様式を個別に登録することによりロック設定を行うことができます。
- ・複数の様式に対して同一のプロセス定義を設定することができます。
- ・ワークフローを使用した場合、登録データ検索からフロー情報を参照することができます。

○他システムとの連携

- ・intra-mart イン트라ネット・スタートパック Version. 5.0・Version. 6.0 (ドキュメント管理・掲示板) と連携することができます。
- ・intra-mart QuickBinder Version. 5.0 と連携することができます。
- ・入力情報を PDF ファイルへ変換することができます。(別途 PDF オプションが必要となります)
- ・入力情報を変換した PDF ファイルへタスク定義毎に日付印を押印することができます。(別途 PDF オプションが必要となります)

2. システム要件

◆ システム要件

intra-mart EX 申請システム Version.5.2 は以下の製品上で動作します。

動作環境については、以下の製品のリリース・ノートを参照してください。

intra-mart BaseModule Version.5.1

intra-mart WebPlatform Version.6.0

※ intra-mart Framework 及び intra-mart AppFramework 上では動作しません。

※ 他システム連携を行う場合、別途連携する製品のインストールが必要となります。

※ 本製品では以下に示すライブラリを使用します。

Apache Jakarta POI Version2.5.1

Apache Jakarta log4j Version1.2.8

JExcelAPI Version2.6

本製品をお使いいただくクライアント環境には Microsoft Excel がインストールされている必要があります。

本製品ではクライアント環境にて ActiveX Control を動作させるため、クライアント環境に以下のファイルが自動的にインストールされます。

※ 本製品をお使いいただくクライアント環境には Visual Basic 6 のランタイムがインストールされます。異なるバージョンのランタイムがインストールされている場合 DLL が競合する可能性があります。

コンポーネント名	ファイル名	Version	ファイルサイズ (KB)
Microsoft Common Dialog Control	CMDLGJP.DLL	6.0.81.63	28
	COMDLG32.OCX	6.1.97.82	150
Microsoft Stock Property Control	msprpjp.dll	6.0.81.63	7
	msstkprp.dll	6.0.88.77	92

コンポーネント名	ファイル名	Version	ファイルサイズ (KB)
Microsoft Visual Basic Runtime ServicePack 6 for Visual Basic Cabinets	ASYCFILT.DLL	2.40.4275.1	145
	COMCAT.DLL	4.71.1460.1	22
intra-mart EX 申請システム ActiveX Control	MSVBVM60.DLL	6.0.97.82	1,354
	OLEAUT32.DLL	2.40.4275.1	585
	OLEPRO32.DLL	5.0.4275.1	161
	VB6JP.DLL	6.0.89.88	100
	ExExcelControl.ocx	2.8.0.0	94
	ExExcelPrint.ocx	2.8.0.0	50
	ExExcelControl.INF		4
	ExExcelPrint.INF		3

◆ 動作検証済みサーバ環境

以下、弊社動作検証済み(推奨)の intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組合せを示します。

intra-mart 製品	Java ランタイム	サーバ OS (AP)	サーバ OS (DB)	データベース	JDBC Driver	
intra-mart BaseModule Ver.5.1 + intra-mart EX 申請システム Ver .5.2 + intra-mart EX 申請システム PDF オプション Ver .5.2	SUN JDK1.4.2_08	Win2003	Win2003	Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)	
				IBM DB2 Universal Database Ver 8.2	DB2 JDBC Driver (IBM DB2 Version 8.2 に付属)	
				SQL Server 2000 ServicePack 4	Microsoft SQL Server 2000 Driver for JDBC Version 2.2.0022	
				SQL Server 2005	Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver Version 1.1.1501.101	
			Linux	Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)	
				PostgreSQL Ver8.0	postgresql-8.0-310.jdbc3	
		Linux	Win2003	Win2003	Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)
					SQL Server 2000 ServicePack 4	Microsoft SQL Server 2000 Driver for JDBC Version 2.2.0022
				SQL Server 2005	Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver Version 1.1.1501.101	
				Linux	Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)
			PostgreSQL Ver8.0		postgresql-8.0-310.jdbc3	
			intra-mart WebPlatform Ver .6.0 + intra-mart EX 申請システム Ver .5.2 + intra-mart EX 申請システム PDF オプション Ver .5.2	SUN JDK1.4.2_12	Win2003	Win2003
IBM DB2 Universal Database Ver 8.2	DB2 JDBC Driver (IBM DB2 Version 8.2 に付属)					
SQL Server 2000 ServicePack 4	Microsoft SQL Server 2000 Driver for JDBC Version 2.2.0022					
SQL Server 2005	Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver Version 1.1.1501.101					
Linux	Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)				
	PostgreSQL Ver8.0	postgresql-8.0-310.jdbc3				
Linux	Win2003	Win2003			Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)
					SQL Server 2000 ServicePack 4	Microsoft SQL Server 2000 Driver for JDBC Version 2.2.0022
		SQL Server 2005			Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver Version 1.1.1501.101	
		Linux			Oracle 10g Release2 (10.2.0.1)	Oracle JDBC Driver Release10.2.0.1 (10g Release2)
	PostgreSQL Ver8.0				postgresql-8.0-310.jdbc3	

※ Win2003:Windows 2003 Server Standard Edition Service Pack1

※ Linux :Redhat Enterprise Linux Advanced Server 3

※ intra-mart EX 申請システム PDF オプションについては、販売店または弊社営業までお問い合わせください。

※ サーバ OS の組合せにより文字コードが正しく変換されない(? 文字に置き換えられる)場合があります。

文字コードが正しく変換されない組合せについては以下の表を参照してください。

◆ 動作検証済みクライアント環境

以下、弊社動作検証済み(推奨)のクライアント環境を示します。

クライアント OS	ブラウザ	Microsoft Excel	Adobe Reader
Windows 2000 Professional Service Pack 4	Microsoft Internet Explorer 6 Service Pack 1	Microsoft Excel 97	Adobe Reader Ver7.0
		Microsoft Excel 2000	
		Microsoft Excel 2002	
		Microsoft Excel 2003	
Windows XP Professional Service Pack 3	Microsoft Internet Explorer 6 Service Pack 2	Microsoft Excel 97	
		Microsoft Excel 2000	
		Microsoft Excel 2002	
		Microsoft Excel 2003	
		Microsoft Excel 2007	
	Microsoft Internet Explorer 7	Microsoft Excel 97	
		Microsoft Excel 2000	
		Microsoft Excel 2002	
Windows Vista ※ Service Pack 1 (Business、Enterprise、Ultimate)	Microsoft Internet Explorer 7	Microsoft Excel 2003	
		Microsoft Excel 2007	

※ Windows Vista+Microsoft Excel2007にてお使いいただいた場合、「4. 既知の障害」に記載されている事象が発生します。

3. 制限事項

◆ intra-mart EX 申請システムをお使いいただく上での制限事項

- (1) 本製品は intra-mart BaseModule Ver.5.1 又は intra-mart WebPlatform Ver.6.0 の制限事項に準拠します。intra-mart BaseModule Ver.5.1 又は intra-mart WebPlatform Ver.6.0 の制限事項については、それぞれの製品のリリース・ノートを参照してください。
- (2) 本製品はMicrosoft Excelの仕様および制限事項に準拠します。Microsoft Excelの仕様および制限事項については Microsoft Excelのヘルプまたはオフィスオンライン(<http://office.microsoft.com/>)を参照してください。
- (3) 本製品は Microsoft Excel 97-2003 形式(.xls)のファイルのみ使用することができます。Microsoft Excel 2007 形式(.xlsx)の形式にてお使いいただくことはできません。
- (4) 本製品は Microsoft Excelを対象とした製品です。そのため Microsoft Word(その他ソフト)にてお使いいただくことはできません。
- (5) 本製品は Microsoft Internet Explorer を対象とした製品です。そのため、Microsoft Internet Explorer 以外ではお使いいただくことはできません。
- (6) intra-mart BaseModule Ver5.1 又は intra-mart WebPlatform Ver6.0 の国際化機能には対応していません。
- (7) 本製品は、ワークフローのプロセス種別「ドキュメントワークフロー」のみに対応しております。
- (8) SSL には対応していません。
- (9) 携帯電話、PDA ではお使いいただくことはできません。
- (10) ファイル、フォルダの保存に関しては OS のファイルシステムに依存します。

(11) 様式は下記の形式にて保存してください。それ以外の形式で保存すると正常に動作しないことがあります。

Microsoft Excel 97 の場合:Microsoft Excel ブック

Microsoft Excel 2000 の場合:Microsoft Excel ブック(*.xls)

Microsoft Excel 2002 の場合:Microsoft Excel ブック

Microsoft Excel 2003 の場合:Microsoft Office Excel ブック(*.xls)

Microsoft Excel 2007 の場合: Excel 97-2003 ブック(*.xls)

(12) 様式の Excel ファイルにオブジェクト(画像・グラフ・テキストボックスなど)を貼り付けることはできません。

(13) 様式の Excel ファイルにピボットテーブルをお使いいただくことはできません。

(14) 様式の Excel ファイルにて、リストの入力規則が設定されたセルを選択したまま保存すると正常に動作しません。

(15) 様式の Excel ファイルにて、マクロの関数名・名前定義・数式等に日本語を使用すると正常に動作しません。

(16) 様式の Excel ファイルにて、フィルタを設定したまま保存すると正常に動作しません。

(17) カテゴリは最大 5 階層まで作成することができます。

(18) 入力情報登録時に最大 10 個まで添付ファイルを登録することができます。

(19) ワークフロー承認時の追記登録で Excel のセル単位にアクセス権限を設定することはできません。

(20) ワークフローのサブプロセス、申請者ルート作成機能でお使いいただくことはできません。

(21) 本製品以外にて作成されたデータベースのテーブルをお使いいただくことはできません。

(22) データベースに SQL Server をご使用いただいている場合、テーブル名・カラム名は全て物理名での表示となります。

(23) intra-mart イン트라ネット・スタートバックと連携を行う場合、Excelファイルのダウンロード時に直接開くとエラーが発生する場合があります。詳細につきましては intra-mart イン트라ネット・スタートバックのリリースノートを参照してください。

(24) intra-mart QuickBinder と連携を行う場合、Excelファイルのダウンロード時に直接開くとエラーが発生する場合があります。詳細につきましては intra-mart QuickBinder のリリースノートを参照してください。

(25) intra-mart QuickBinder と連携を行う場合、QuickBinder にて作成したユーザ属性情報を登録することはできません。

(26) マスタ連携設定を利用した場合、以下の制限が発生します。

①利用できない処理

・入力様式のダウンロード・アップロード処理や再利用登録処理を利用できません。

②再度マスタの抽出が行われる処理

・入力様式の一時保存後、一時保存呼出を行うと一時保存時にマスタ抽出した項目を再抽出します。

③マスタの抽出が行われない処理

・ワークフローの追記登録時はマスタ抽出を行いません。

(27) 入力様式マスタメンテの採番設定で指定した項目を参照するセル内計算式は利用できません。

(28) アイコンを右クリックにて「リンクを新しいウィンドウで開く(N)」で表示した場合、正常に動作いたしません。

(29) 様式に独自のマクロを追加する場合、標準モジュールの名称は頭の文字を大文字にしてください。

◆ クライアント制限事項

(1) 本製品が動作するクライアント環境において、他のソフトウェア等をインストールした場合、DLL のバージョンにより障害が発生する場合があります。

(2) Excel を重複して利用することはできません。重複のパターンを以下に示します。

① EX 申請システムで Excel を表示後、クライアントの Microsoft Excel を起動する。

② EX 申請システムで Excel を表示後、EX 申請システムで添付した Excel ファイルを表示する。

③ EX 申請システムで Excel を表示後、intra-mart のワークフローで添付した Excel ファイルを表示する。

④ EX 申請システムで Excel を表示後、別ブラウザで EX 申請システムで Excel を表示する。(添付ファイルは除く)

⑤ クライアントの Microsoft Excel を表示後、EX 申請システムの Excel を表示する。

※上記パターンの④と⑤は Ver.5.2.7 以降のパッチを適用すると Excel 重複チェックにより、エラーメッセージが表示されます。

※上記パターンの①と②と③は Ver.5.2.8 以降のパッチを適用することで解消されます。

またパターンの⑤は、①の順番で表示していただくことで解消されます。

※EX 申請システムで Excel を表示後、Microsoft Internet Explorer を×ボタンで閉じた場合、次回以降クライアントの Microsoft Excel を表示するさいに、シートが表示されなくなる事象が発生することがあります。

発生した場合は、下記の対応を行ってください。

Microsoft Excel 97 の場合:ツール/オプション/全般/他のアプリケーションを無視するのチェックを外す

Microsoft Excel 2000 の場合:ツール/オプション/全般/他のアプリケーションを無視するのチェックを外す

Microsoft Excel 2002 の場合:ツール/オプション/全般/ほかのアプリケーションを無視するのチェックを外す

Microsoft Excel 2003 の場合:ツール/オプション/全般/ほかのアプリケーションを無視するのチェックを外す

Microsoft Excel 2007 の場合:Excel のオプション/詳細設定/Dynamic Data Exchange(DDE)を使用する他のアプリケーションを無視するのチェックを外す

(3) 本製品は入力情報の登録時に Microsoft Excel のマクロを使用しています。

マクロを使用しないで登録などを行うことはできません。本製品を使用する場合は、以下のいずれかの対処が必要な場合があります。

- Excel97、2000、2002、2003 の場合—セキュリティレベル「中(M)」または「低(L)」
- Excel2007 の場合—「すべてのマクロを有効にする」

なお、マクロのデジタル署名の詳細については、マイクロソフトのオフィスオンライン(<http://office.microsoft.com/>)を参照してください。

(4) クライアント環境に Windows Vista + Microsoft Excel 2007 を使用される場合、レジストリキーの削除が必要となります。

(「4. 既知の障害」を参照) レジストリを削除しない場合、そのクライアントでは EX 申請システムは正常に動作いたしません。レジストリキーの削除及び復元は EX 申請システムに同梱のツールにて行うことが可能です。以下に削除が必要なレジストリキーを示します。

- HKEY_CLASSES_ROOT¥Excel.Sheet.8¥BrowserFlags
- HKEY_CLASSES_ROOT¥Excel.Sheet.12¥BrowserFlags

※ 同梱のツール使用方法に関しては「操作説明書(システム利用者編) 2.2 レジストリの削除」を参照してください。

※ 「4. 既知の障害 (3)」についてはレジストリを削除することにより回避することが可能となります。但し、レジストリを削除した場合の他への影響については保証できかねます。

※ WindowsUpdate を行った際に、上記で削除したレジストリが復元する場合があります。復元した場合は、再度レジストリの削除を行ってください。

(5) EX 申請システムで Excel を操作している途中で Microsoft Internet Explorer がアプリケーションエラーで以上終了した場合、Excel プロセスが終了しないことがあります。その場合は Operating System の再起動を行うか、Excel プロセスを終了しても影響がないことを確認し、タスクマネージャのプロセス操作より Excel プロセスの終了を行うかのどちらかを行ってください。

4. 既知の障害

- (1) 入力情報を登録する、もしくは登録した入力情報を訂正する場合に Excel ファイルのセル内に不要な半角スペースが入ってしまい、下記に挙げる事象が発生する場合があります。

- 1.セル内に文字列連結の数式を設定している場合、連結結果で正しい結果が得られません。
- 2.セルの入力規則でリストを設定している場合、既に選択済の値が異なった値となります。
- 3.セルの書式設定にてセンタリングをしている場合、半角スペース分だけ表示位置がずれてしまいます。

上記事象は以下の方法により回避できる場合があります。

・1 の回避方法

Excel の TRIM 関数を使用し、前後の半角スペースを削除する(Excel ファイル表示時)

例) セルに「=A1+A2」を設定している場合、「=TRIM(A1)+TRIM(A2)」に変更する

・2、3 の回避方法

Excel マクロの Workbook.Open 関数内にて対象セルに対し、TRIM 関数を適用する

- (2) クライアント環境に Windows Vista+Microsoft Excel 2007 をご使用いただいている場合、標準の設定にてご使用いただくとブラウザ内に Excel が表示されず、クライアントの Excel が起動します。

- (3) クライアント環境に Windows Vista+Microsoft Excel 2007 をご使用いただいている場合、ブラウザ内に Excel のメニューバー、リボンが表示されます。ブラウザ内に表示している際にメニューバー、リボンにて操作を行った場合、EX 申請システムは正常に動作しません。

- (4) 入力規則のリストを利用時に「元の値」にセルの参照式を設定すると、Excel シートを登録することができない場合があります。

上記事象は、参照するセルにローマ英数字で名前を定義し、その名前を入力規則の「元の値」に設定することで回避できます。

- (5) セッションフェールオーバーを有効にした場合、下記にあげる環境では正常に動作しない場合があります。

1. Web Server Connector を利用した構成でファイルサイズの大きい入力様式フォーマットを利用している場合(許容できるファイルサイズの大きさは環境に依存)

- (6) 一時保存呼出等で Excel 様式のシート見出しが表示されない場合があります。

上記事象は、Excel 様式の境界線を操作して Excel の表示領域を広げることで回避できます。

※上記事象は Ver.5.2.8 以降のパッチを適用することで解消されます。

5. その他

他の会社名、製品名及びサービス名などはそれぞれ各社の商標又は登録商標です。

※ 最新の技術情報やパッチ提供は**intra-mart Support Site**を御参照ください。

intra-mart Support Site: <http://www.intra-mart.jp/support/intramart.cgi>

以上

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2006/11/30	初版
2007/1/26	第二版 ・バージョンアップ内容を追記しました。
2007/4/6	第三版 ・システム要件内容を修正しました。
2007/11/8	第四版 ・既知の障害に入力規則のリスト利用時についての制限を追記しました。
2007/11/27	第五版 ・既知の障害にセッションフェールオーバーを有効にした場合についての制限を追記しました。
2008/2/29	第六版 ・システム要件内容を修正しました。 ・既知の障害に Excel 様式のシート見出しが表示されない事象について追記しました。
2008/7/31	第七版 ・システム要件内容を修正しました。 ・制限事項に Excel を重複して表示する際の制限を修正しました。 ・制限事項にマクロのセキュリティレベルについて制限を追加しました。 ・制限事項に様式テンプレートを使用する際の制限を修正しました。 ・制限事項に intra-mart イン트라ネット・スタートバックを利用する際の制限を補足しました。 ・制限事項に intra-mart QuickBinder を利用する際の制限を補足しました。 ・制限事項にマクロの標準モジュール名称の命名について制限を追加しました。 ・制限事項にマスタ連携設定を利用する際の制限を追加しました。 ・制限事項に Excel プロセスを操作する際の制限を追加しました。 ・既知の障害に Excel 様式のシート見出しが表示されない事象についての制限を改善しました。